

二 吉谷覺寿略歴

- 一八四三（天保十四） 八月、美濃国石津郡徳田村の真宗大谷派・浄厳寺に父・円海の長男として生まれる。幼少期から観月に師事し、その後、高倉学寮にて宗乗余乗を学ぶ。
- 一八六六（慶応二） 浄厳寺内に研精学舎を開き、漢学、仏書学を教える。
- 一八七三（明治六） 浄厳寺内に鴻漸北校が開校され、漢学、筆道の教員となる。
- 一八七七（明治十） 東京教校教授に就任。
- 一八八一（明治十四） 東京大学文学部哲学科の印度哲学講師に就任。
- 一八八五（明治十八） 東京教校校長に就任。
- 一八九〇（明治二三） 帝国大学を辞職し、高倉大学寮教授に就任。擬講となる。
- 一八九六（明治二九） 嗣講となる。
- 一九〇一（明治三四） 講師となる。
- 一九〇六（明治三九） 一乗院の称号を授かる。
- 一九一一（明治四四） 真宗大谷大学教授に就任。
- 一九一四（大正三） 三月、永眠。

主な著書に『仏教概論』『明治諸宗綱要』『天台四教儀集註』『阿弥陀経講義』等がある。